

コロナとの戦い第二章 行事を創れ！

今日も、猛暑の中、子どもたちは元気に登校してきました。子どもたちは、8月17日から2学期がスタートするという未だかつてない夏を過ごしました。下校時には、毎日が30度以上の日差しが照り付ける中、日傘をさして下校しました。全員が晴れた日に傘をさして分散一列下校というまれに見る光景も生まれました。そして、熱中症予防のために、休み時間も室内で過ごしました。8月熱中症にかかるものもなく元気に登校できたことは、まだまだ油断できませんが、コロナとの戦い、暑さとの戦いに打ち勝ったといえるのではないのでしょうか。子どもたちの頑張りをほめたたえたいと思います。



日傘で下校する子ども



玉入れをやっている6年生たち

さて、コロナとの戦い第二章は、暑さに勝つ、そして、行事を創れです。2学期、例年だと運動会・音楽会・修学旅行・校外学習・マラソン大会と行事・行事に追われながら、一つの一つの行事を主体的に取り組み、大きな達成感や成就感を得てきました。ところが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止と授業時数の確保のために、本校の規模では、運動会も音楽会も実施できません。修学旅行も日帰り旅行になりました。子どもたちにとっては、楽しみにしていた行事であり、大きく大きく成長させる機会なのに、残念に思います。でも、ここで、考え方を考えるのです。新たな企画が

できる機会を得たと。行事を創れ！まさに、行事を創るのです。今、6年生と運動会に代わる新たな企画「ひろりんピック」の開催の準備をしています。ひろりんピックは、スマイル班（縦割り班）で数々の競技を進めていきます。徒競走・タイフーン・ボトル運び・玉入れ・大縄跳び・障害物リレー・スマイル班全員リレーの8種目をスマイル班対抗及び赤・白・青三色対抗戦で行います。運動場・体育館・教室・ろうかに分かれて競技していきます。6年生のリーダーたちは、下級生にどう教えていくのか、大会当日までの練習方法や練習計画を立てるのに躍起となっています。どうやったら勝てるんだろうと作戦も考えています。ひろりんピックを通して、縦割り班の醸成、そして仲間づくり・絆を深めていきます。保護者の方に集まってはいただけませんが、楽しみにしておいてください。

新型コロナウイルスの猛威はなかなか収まる気配を見せません。ウイズコロナではありませんが、コロナ禍の中でできること、できないことを見極め、広野小は進んでまいります。子どもたちと新たな行事を創っていきます。

校長 古谷 昭文



練習計画を立てているリーダーたち